

～地域とともにある学校づくりをめざして～

寿都町コミュニティ・スクールだより

第10号 平成28年12月7日 発行

発行者：寿都町学校運営協議会連絡会

平成28年度寿都町コミュニティ・スクール交流会 開催 テーマ「人と人がつながっていくために大切にしたいこと」



10月19日、文化センターで町内3校の学校運営協議会（保護者や地域住民が学校運営に参画している組織）の委員や教育関係者などが集まる交流会を開催しました。今回は町長や町議も参加し、学校運営協議会委員（CS委員と表記します）が中心となって、参加者59名で交流を深めました。



寿都中 CS 委員（進行役）

関係者一人ひとりが子供たちのことを真剣に考えている様子を感じ、その仲間の一人であることを嬉しく思いました。



寿都小 CS 委員（司会）

今まで以上に委員として積極的に活動してみたいと思うような刺激をもらった、実りある時間が過ごせました。

3校のCS委員が、コミュニティ・スクールの活動に取り組んできた中で感じたことなどを発表しました。



寿都中 CS 委員（発表者）

支援する側の大人が子供への思いを一つにし、協力し合っていくことがとても重要だと思います。今後もこの交流会で確認し合い、共有し続けられることを願っています。

寿都小 CS 委員（発表者）

なかなか CS の活動自体見えにくいものではありますが、今後も、活動の成果を意識しながら取り組んでまいりたいと思います。

潮路小 CS 委員（発表者）

子供たちと自分、今度は子供たちと自分の知人へとつなげる。自然にその機会を作ることが大切かなあと思い、皆さんに伝えたいです。

取組発表のあとは、参加者が9グループに分かれ、意見交流をしました。真剣な中にも笑いの絶えないグループ交流となりました。その様子を、ほんの一部ですが写真やつぶやきで紹介します。



“子供の学びの支援”から、さらに1歩2歩踏み出してみよう



異なる立場の方からの意見が聞けてハッとした



皆が「寿都をよりよくしたい」と思っているのを感じる

学校とつながる人を増やしていきたい

3名のCS委員の話が聞けてよかった



意見交流の最後には、各グループで『人と人がつながるために大切なこと』はこれ！という言葉を考えました。ホワイトボードに書いていき、みんなで確認しました。



『コミュニティ・スクールにとって大切なことは「つながり」だと考えています。これからもコミュニティ・スクールの活動をずっと続けていくために、これら「大切なこと」を一人ひとりの心にとめて、まず私たちがつながっていきましょう。』と結び、今回の交流会を終えました。